

授業者 千葉市立幸町第三小学校  
渡辺 真衣

## 1 単元名 『「わが町ベスト・スリー」を決めよう』—推薦するもののよさを効果的に伝えよう—

## 2 単元について

## (1) 単元観

本単元は、目的や意図に応じて事柄のよさを説明するために、構成や話し方を工夫して話すことをねらいとする学習である。聞き手は話し手の意図を考えながら聞き、構成や話し方の工夫に気付いたり、内容に納得できるかどうか考えたりすることをねらいとしている。構成の工夫として、結論を先に述べることや理由を整理して述べること、まとめて推薦するものをもう一度述べることなどに気が付けたい。話し方の工夫では、問いかけでひきつけることや繰り返すことで強調するといったことに気付かせたい。そして、推薦者の思いがこれらの工夫に表れていることを知り、その効果について考えさせたい。

本単元では、「事物や人物を推薦したり、それを聞いたりする」という言語活動を通して、「話すこと・聞くこと」の「ア 考えたことや伝えたいことなどから話題を決め、収集した知識や情報を関係付けること。」及び「イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。」「エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること」を指導する。

そこで、同じ千葉市にある作新小学校の5年生と「わが町ベスト・スリー」を交流するという場を設定し、クラスとして「わが町ベスト・スリー」を推薦するという目的のために、まずはクラス全員がそれぞれ個別に、推薦し合うための対象を調べて発表したり聞き合ったりして、説得力のある「推薦」活動が展開できるように設定した。まず、第一次では、作新小学校の様子を知り、同じ千葉市でも自分たちの町とは様子が異なることから「自分たちの町のよさを伝えたい」という目的意識をもたせ、学習に対する意欲を高めたい。第一次で活動の目的を明確にすることで、単元を通して児童が主体的に学習を進められるようにする。第二次では、教科書教材『「わが町すいせんスピーチ」をしよう』のスピーチの例から、話の構成や話し方の工夫に気付かせたい。話の構成や話し方の工夫について教師が学習を進めていくのではなく、「自分の推薦するもののよさを伝えたい」という思いを大切に、児童が工夫を見つけられるようにしたい。次に、学習した話の構成や話し方の工夫を生かして、全員で幸三小を推薦する活動を行うことで、推薦したいものについて深く理解したり、聞き手の興味や目的に応じて内容を選択したりする必要があることに気付かせたい。そして、第二次で学習したことを生かし、第三次では自分が考えた「わが町ベスト・スリー」を班の友だちに推薦する活動を行う。互いの推薦を聞き合った後班で話し合い、班で推薦する「わが町ベスト・スリー」決め、それをもとにクラス全体で「わが町ベスト・スリー」を決定する。まず一人一人が推薦する場面を設け、二次で学習した聞き手を納得させるための内容の選び方、話の構成や話し方の工夫を意識してスピーチをすることができるようにしたい。また、聞き手も第二次で学習したことを生かし、話し手の工夫に着目して、その工夫が効果的であるかどうかを考えながら聞くことができるようにしたい。

## (2) 本単元でつけさせたい力

- ① (取材する力) 推薦したい理由を明確にして情報を収集し、根拠をもって考える力
- ② (話し方の工夫を考える力) 聞き手を納得させるための構成や話し方の工夫を見つけその効果を考える力
- ③ (話し手の意図を考えて聞く力) 話し手の工夫に気付く力

(3) 評価 (A : 十分満足できる B : 概ね満足できる)

つけさせたい力		児童の表れ
① 取材する力	A	・推薦したい理由を明確にし、聞き手の要求に応じて情報を収集している。
	B	・推薦したい理由を明確にして情報を収集している。
② 話し方の工夫を考える力	A	・聞き手を納得させるための構成や話し方の工夫に気付き、その効果について自分の考えをもっている。
	B	・聞き手を納得させるための構成や話し方の工夫に気付いている。
③ 話し手の意図を考えて聞く力	A	・話し手の意図を考えながら聞き、話し手の工夫が効果的であるかどうかについて自分の考えをもっている。
	B	・話し手の意図を考えながら聞き、話し手の工夫に気付いている。

(4) 本単元で扱う主たる言語活動

事物や人物を推薦したり、それを聞いたりすること・・・A 話すこと・聞くこと

### 3 児童の実態 (略)

### 4 単元の見目標

- 伝えたい事柄が明確に伝わるよう、話の構成や話し方を工夫して話すことができる。(話すこと・聞くこと アイ)
- 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。(話すこと・聞くこと エ)

### 5 単元の評価規準 (7時間扱い)

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
○ 幸町の魅力を推薦するために、進んで情報を収集しようしたり、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しようしたりしている。	○ 推薦する事柄のよさを明らかにし、推薦理由を明確にして説明したり、話の構成や話し方を工夫したりしている。 ○ 話し手の意図をとらえながら聞き、話の構成や話し方の工夫に気付いている。	○ 話し言葉と書き言葉とでは、表現上の特徴などに違いがあることに気付き、その特徴に注意して話している。

### 6 単元の指導計画 (7時間扱い)

次	時	学習内容と活動	指導上の留意点 (○) と評価 (◇)
一次	1	○ 教師のふるさと自慢スピーチを聞き、感想や気付いたことを話し合う。 ○ 「わが町ベスト・スリー」を決める学習に見通しをもち、学習計画を立てる。 《ゴール》 『「わが町ベスト・スリー」を作って、作新小学校に紹介しよう』	◇ ゴールを考え、その課題に向かってどんな学習をしたらいいか、どのような力をつけたいか見通しをもっている。(関心・意欲・態度) ○ 推薦に興味をもち、学習の意欲を高めるために教師がふるさと自慢スピーチをする。 ○ 教師のふるさと自慢スピーチについての感想を話し合い、「自分の町のことを伝えたい」という思いをもてるようにする。

		<p>《そのために学習すること》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な構成や話し方を知る</li> <li>・相手を説得するための理由を考える</li> <li>・自分の意見と比べながら聞き、考えをまとめる</li> </ul>	推薦したい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「わが町ベスト・スリー」をクラス内で推薦し合い、作新小学校の5年生と交流するという単元の見通しをもてるようにする。</li> </ul>
二次	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書教材『「わが町ベスト・スリー」を決めよう』のスピーチ例をもとに、効果的な構成や話し方を知る。</li> </ul> <p>《構成の工夫》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめでもう一度推薦するものを言う</li> <li>・結論を先に言う</li> <li>・推薦する理由を整理して言う など</li> </ul> <p>《話し方の工夫》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問いかけでひきつける</li> <li>・繰り返すことで強調する など</li> </ul>	事柄について取材する	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 話し言葉と書き言葉とでは、表現上の特質などに違いがあることに気付き、その特質に注意して話している。(言語についての知識・理解・技能)</li> <li>○ 推薦に生かせるよう、話の構成や話し方に推薦者の意図が表れていることを押さえる。</li> <li>○ 『わが町ベスト・スリー』を決めようの教材を利用し、話の構成や話し方の工夫に気付けるようにする。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全員で「幸三小のおすすめ」をテーマにして構成メモを作る。</li> <li>○ 班で一人一人「幸三小のおすすめ」を推薦し、推薦名人を決める。推薦名人を決めた理由も発表する。</li> <li>○ 推薦名人のスピーチを聞き、感想を伝え合う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習した構成や話し方の工夫を生かして、構成メモを作るように助言する。</li> <li>◇ 推薦する事柄のよさを明らかにし、推薦理由を明確にして説明したり、話の構成や話し方を工夫したりしている。(話す能力)</li> <li>○ 話の構成や話し方のポイントを確かめ、聞き手が観点をもって聞くことができるようにする。</li> <li>○ 同じものを推薦していても理由が違うことに着目させ、推薦する理由(内容)にも、聞き手をひきつける効果があることに気付けるようにする。</li> </ul>
	時間外	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 先生や保護者の方に町のよさについてインタビューする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 先生や保護者にインタビューすることで、自分の調べた町のよさだけでなく、様々な視点から町のよさを考えられるようにする。</li> </ul>
三次	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の「わが町ベスト・スリー」を考えてスピーチメモを作る。</li> <li>○ 話し方の工夫を考え、発表の練習をする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 推薦する事柄のよさを明らかにし、推薦理由を明確にして説明したり、話の構成や話し方を工夫したりしている。(話す能力)</li> <li>○ なかなか構成メモが作れない児童には、前時に作った「幸三小ベスト・スリー」をもとにして考えるように支援する。</li> <li>○ 第二次の学習を生かし、内容・構成・話し方の工夫を考えるようにさせる。</li> </ul>
	5 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 班で一人一人「わが町ベスト・スリー」を推薦し、推薦名人を決める。推薦名人を決めた理由も発表する。</li> <li>○ 児童数名が全体の前でスピーチする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 推薦する事柄のよさを明らかにし、推薦理由を明確にして説明したり、話の構成や話し方を工夫したりしている。(話す能力)</li> <li>◇ 話し手の意図をとらえながら聞き、話の構成や話し方の工夫に気付いている。(聞く能力)</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容・構成・話し方のポイントを確認、聞き手が観点をもって聞くことができるようにする。</li> <li>○ 発表と発表の間に聞き取りメモをとるように声をかけ、聞くことに集中できるようにする。</li> <li>○ 自分の発表に生かせそうなことはないか考えながら聞くように声をかける。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前時に気付いた友だちの推薦のよさを生かし、自分の構成メモを修正する。</li> <li>○ 班ごとに発表の練習を行い、互いに聞き合っよりよい推薦になるように助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 話し手の意図をとらえながら聞き、話の構成や話し方の工夫に気付いている。(聞く能力)</li> <li>○ 話の内容・構成・話し方の三つの観点で聞き、助言するよう声をかける。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人一人発表している様子をビデオで撮影する。</li> <li>○ 学習の振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 推薦のポイントを振り返り、学習全体のまとめをすることができるようにする。</li> <li>○ 作新小学校にビデオレターとして送ることを伝え、達成感を味わうことができるようにする。</li> </ul>

## 7 本時の指導

### (1) 本時の目標

- 推薦する事柄のよさを明らかにし、推薦理由を明確にして説明したり、話の構成や話し方を工夫したりすることができる。(話すこと・聞くこと)
- 話し手の意図をとらえながら聞き、話の構成や話し方の工夫に気付くことができる。(話すこと・聞くこと)

### (2) 本時の展開 (5 / 7 時間)

学習活動と主な内容	指導上の留意点 (○) と評価 (◇)
1 本時の学習のめあてを確認する。	○ 学習のめあてとねらいを確認し、学習の流れとゴールがどこに向かうのかを伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>聞いている人がわくわくするような紹介をしよう。</p> </div>	
2 前時に作成した構成メモをもとに、一人ずつ発表する。 聞き手は、話の構成・内容などの工夫に注意して聞くようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 伝えたいことが効果的に伝わるように、話の構成や話し方を工夫して話している。(話すこと)</li> <li>○ 発表中はメモをとらず、発表と発表の間にメモをとることを伝える。</li> <li>◇ 話し手の意図を考えながら聞き、話し手の工夫に気付いている。(聞くこと)</li> <li>○ 自分の発表と比べながら聞くように声をかける。</li> </ul>
3 聞き取りメモをもとに、推薦名人を決める。 ・(話し方の工夫) …始めに問いかけを入れて、聞いている人に興味をもたせていてよかった。 ・(構成の工夫) …最後に伝えたいことを繰り返していたので伝えたいことが印象に残った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多数決ではなく、聞き取りメモをもとに話し合っ決めて伝える。</li> <li>○ 友だちが気付いていない工夫について感想を述べるようにすることを伝える。</li> </ul>

・(内容の工夫) …みんなが知らないような豆知識を入れたのでおもしろかった。

5 推薦名人に選んだ人とその理由を班ごとに発表する。

・私たちの班はAさんを推薦します。理由は三つあります。一つ目は話し方の工夫で、始めに問いかけがあったことでひきつけられたからです。二つ目は構成の工夫で、伝えたいことを整理して話していたのでわかりやすかったからです。三つ目は内容の工夫で、インタビューした内容があって説得力があったからです。

6 児童数名が全体の前でスピーチを発表し、感想を伝え合う。

7 学習の振り返りをする。

・写真や資料を見せるタイミングが難しかった。Aさんはインタビューなどでみんなが知らない情報をたくさん集めていて、内容がおもしろかったのでまねしたい。

○ 考えをもてない児童には、自分の発表と比べ、共通点や違う点を考えるよう声をかける。

○ 感想を話の構成と話し方の内容の三つの観点で整理して板書することで、効果的に聞き手に伝えるためには様々な工夫があることを確かめる。

○ 選んだ理由が3つの観点から考えられるようにする。班全員で話すことで、推薦名人が自信をもってスピーチできるようにする。

○ スピーチのよいところを見つけて、自分の発表に生かせるように声をかける。

○ 自分の発表を振り返り、友だちの発表でまねしたい工夫を考えるよう声をかける。

○ 次時は、班で協力してよりよい推薦になるように修正することを伝える。